

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ICT基礎演習（Basic ICT Skills）		
ナンバリングコード	P11904	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル ビジネスコンピュータ・リテラシー
単位数	1	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修: 情報コミュニケーションコース 選択: 情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P181401	クラス名	前期
担当教員名	坂井 美穂		
履修上の注意、履修条件	期間中に、ITパスポート試験に合格することが必須となります。この試験は学外で行われ、費用が発生します。 受講開始時における個人の理解度や目指す資格に応じて、学習内容や進み具合が変わります。計画性をもって自主的・積極的に取り組んでください。 本授業は「ITパスポート試験」に合格することが主たる目標であるため、情報コミュニケーションコース以外のコースで、すでにITパスポート資格を持っている人は履修できません。		
教科書	必要に応じて資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	令和4-5年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集（よくわかるマスター）FOM出版 【令和5年度】いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集 SBクリエイティブ		
関連科目	コンピュータ基礎, IT基礎, eビジネス基礎, ICT応用		

○基本情報		
授業の目的	本授業では、ICTを利活用するために必要な幅広い知識について、演習を通じてさらに理解を深め、その結果としてICT関連の資格を取得することを目的とします。特に、1年次の「コンピュータ基礎」、IT基礎」、および、「eビジネス基礎」で学んできた分野をカバーする「ITパスポート資格」を取得することを第1目標としています。 ITパスポート試験は、2021年に「数理・データサイエンス・AI」に関する知識や、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みに関連する技術に関する項目などが追加され、2022年4月の試験からシラバス「Ver6.0」対応となり、プログラミング的思考力として擬似言語などが追加されます。本授業では、これらの知識に関して、利活用の立場から適切に理解し判断できるような能力の養成も目的としています。	
授業の概要	ITパスポート資格を取得した後、IT系の資格から対象とする資格を選択し、資格取得を目指す。本授業では、まず最初に ITパスポート試験の過去問に基づいたテストを実施し、その時点での理解度を確認します。すでにITパスポート資格を取得済みの場合、および、理解度確認テストの結果が一定基準以上の場合、受験日や次に対象とする資格を決定し、各自で学習計画を立て、それに従って学習を進めます。 理解度が一定基準に達していない場合、シラバスの大分類ごとに問題を解いて復習していきます。授業で復習する項目に関して、前回授業時に出題します。授業に臨むにあたっては、それらの問題を授業開始時までには解いて提出しておくこととします。授業時間中は、講評を聞いて各自が理解を深めます。 前期内を日途にITパスポート試験に臨み、合格した場合は次に目指す資格を選定し、不合格の場合は、学習計画を見直しで再度試験を受けるものとします。なお、個人の理解度に合わせて目標設定	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「反転授業」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会におけるICT利活用の重要性を意識し、ICTに関する知識の修得および関連資格の取得に向けて、高い関心をもって取り組むことができる。			30点
【知識・理解】	高度情報化社会においてICTを利活用するために必要な、マネジメント、ストラテジ、テクノロジーに関する知識を理解できる。	50点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	専門的な知識を他者にわかりやすく説明することができる。			
【思考・判断・創造】	既往の学習によって得られた知識を、実社会での事象と関連付けて考え、応用することができる。			

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
到達目標に対する達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を満たしている。(成績評価基準点の合計が90点以上) [Aレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。(成績評価基準点の合計が80点～89点) [Bレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。(成績評価基準点の合計が70点～79点) [Cレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を一部満たしている。(成績評価基準点の合計が60点～69点)
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
成績評価における基準は、以下の通りです: 【関心・意欲・態度】 資格取得に向けての取り組み姿勢や学習計画に対する自己管理の度合いを評価します。 理由のない遅刻や欠席は減点の対象となります。 ITパスポート以外に資格を取得した場合、評価の対象となります。 【知識・理解】 ①ITパスポート試験を取得した場合50点になります。 ②予習問題への取り組み状況を20点満点で評価します。
・授業計画では、受講開始時に「ITパスポート」資格を取得していない場合の、典型的なスケジュールを示しています。試験を受ける時期は、理解度に応じて決めることとします。受講開始時に既に取得済みの場合は、新たに目指す資格を選定し、そのための学習計画を立てます。
・ITパスポートは全員必須の資格ですが、それ以外の資格は個人の興味に応じて自由に選べます。ITパスポート取得後は個別面談を行って学習計画を立て、計画遂行に対しては個別に対応します。
・最初に作成する学習計画に対して計画通りに進められているかは、随時確認します。進捗に問題がある場合は、適宜計画の見直しを行うものとします。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	ICT基礎演習 (Basic ICT Skills)	授業コード	P181401
	担当教員	坂井 美穂		
学修内容				
1. 理解度確認テスト 現在の理解度を確認するために、過去問に基づいた理解度確認テストを実施します。				
予習	ITパスポート試験について調査する。			約1時間
復習	正誤を確認し、自分の理解度を認識する。			約1時間
2. ガイダンス・学習計画 本講義の取り組み方についてのガイダンスを行い、学習計画を立てます。 ・ITパスポート試験の説明、および、2022年4月から適用されるシラバス Ver 6 について解説 ・理解度確認テストについての、全体的な講評 ・学習計画の作成				
予習	理解度確認テストでできなかった項目をピックアップする。			約1時間
復習	学習計画を確認し、自宅学習の計画を立てる。			約1時間
3. ストラテジ系 企業と法務 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	ストラテジ系「企業と法務」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
4. ストラテジ系 経営戦略 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	ストラテジ系「経営戦略」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
5. ストラテジ系 システム戦略 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	ストラテジ系「システム戦略」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
6. マネジメント系 開発技術 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	マネジメント系「開発技術」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
7. マネジメント系 プロジェクトマネジメント 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	マネジメント系「プロジェクトマネジメント」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
8. マネジメント系 サービスマネジメント 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	マネジメント系「サービスマネジメント」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間

○授業計画	科目名 担当教員	ICT基礎演習（Basic ICT Skills） 坂井 美穂	授業コード	P181401
学修内容				
9. テクノロジ系 基礎理論 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	テクノロジ系「基礎理論」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
10. テクノロジ系 コンピュータシステム 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	テクノロジ系「コンピュータシステム」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
11. テクノロジ系 技術要素 予習で提出した問題の解説を行います。できなかった問に対して各自で復習し理解を深めます。				
予習	テクノロジ系「技術要素」の問題を解く。			約1時間
復習	理解が不十分な項目をリストアップし、復習する。			約1時間
12. 公開問題の実施 公開問題を時間内に解きます。				
予習	これまでに取り組んだ問題を見直す。			約1時間
復習	公開問題に対して間違った箇所を理解する。			約2時間
13. 全体復習 ITパスポート試験シラバス Ver0.6 の各項目を再度確認しチェックリストを作成し、苦手部分の理解を深める。				
予習	ITパスポートシラバスver6 の各項目を確認する。			約1時間
復習	チェックリストを確認する。			約2時間
14. ITパスポート試験 ITパスポート試験を受験します。				
予習	チェックリストを確認する。			約2時間
復習	わからなかった項目をメモしておく。			約1時間
15. 総括 ITパスポート試験に合格した場合は、次に目指す資格を選択し、今後の学習計画を立てます。 合格できなかった場合は、勉強の仕方を振り返り、次に受験する時期を定め学習計画を立てます。				
予習	目指す資格について調査する。			約1時間
復習	学習計画にそって復習する。			約1時間
16.				
予習				
復習				